

地質サイトカード

カードNo.		C-⑥-3	通しNo.	45	作成日	2025/3/10		
サイト名		あさやま ろくしんざん 朝山の六神山						
基本情報	エリア	南部丘陵地 探訪サイト						
	区分	☒ 地質・地形		☐ 生態	☒ 文化			
	利用価値	☒ 科学		☒ 教育	☒ 観光・ツアー			
	所在地	出雲市朝山町						
	アクセス	山陰道 出雲ICから約10km、約15分。岩根寺駐車場の南に見える。						
	周辺施設	☐ トイレ ☐ 売店 ☐ 飲食店 ☐ 駐車場(台) ☐ ウォーキングコース ☐ サイクリングコース ☒ 観光施設(朝山神社)						
	看板整備	岩根寺への案内看板あり。現地にも説明案内板及びパンフレットあり。						
	留意点					位置情報	b-4	
保護・保全	法規制・関連団体等							
	保全メモ							
サイトの解説	みどころ	約1500万年前のデイサイト溶岩(大森層)の節理と、くぼんだ空間に造られたお堂(岩根寺)。						
	地質・地形	上朝山地区には新第三紀中新世中期(約1500万年前)の火山活動で噴出したデイサイトが広く分布している。デイサイトの溶岩は粘性が高いため、釣り鐘状に盛り上がった形状の山がつくられるなど、独自の地形を形成することが多い。柱状節理が発達する岩根寺の断崖や雲井(うい)の滝はそのような岩石の性質を反映している。古代においてもこの地形は注目され、『出雲国風土記』には、大国主命とゆかりのある六神山(宇比多伎山、稲積山、影山、稲山、鋒山、冠山)として記載されている。山容から大神の御用の道具に見立てられており、鞍掛岩は六神山の中の鋒山にあたる。節理があって崩れやすい所には半洞窟状の窪みがつくれ、お堂(岩根寺)が安置されている。上朝山から県道51号を約2km進むと稗原町石畑地内に至り、ここからは鞍掛岩と同じ時期に形成された要害山や大袋山を見ることができる。						
	歴史・文化 生物・生態等	高さ30m以上はある断崖の下にくぼみに建てられた浄土宗神朝山岩根寺。岩根寺は出雲巡礼夏には断崖にぶら下がっているノウゼンカズラが花を咲かせる。秋にはノウゼンカズラの横にある銀杏の木が紅葉する頃に多くの人が訪れる。						
写真・図等								
参考文献								